

2025年5月11日 復活節第四主日礼拝説教

「よき羊飼いに導かれて」（ヨハネ10章22～30節）

○ヨハネ10章25節のみことば

「わたしが父の名によって行う業が、わたしについて証しをしている。」

ガリラヤを去った救い主イエスは、エルサレムの神殿にてユダヤ人たちと話をしていた。そしてキリストは、ラザロをよみがえらせた後、過越祭を迎えて十字架の死に向われる。

☞キリストの現した〈みわざ〉を見て、語った〈みことば〉を聞けば、この方がメシアであることを信じられるはず。

「わたしの羊はわたしの声を *聞き分ける。」（27節）

*いろいろな声の中からキリストのものを選んで聞き従う。

☆救い主イエスは、「わたしの羊」となった〈あなた〉にも正しく聞き分ける力と、神の御声に聴く耳を与えられる。

※みことばに触れ続けて、御声に聞き従う者とされよ。

今日のみことば：ヨハネ10章27節

「わたしは彼らかれを知しっており、彼らかれはわたししたがに従う。」

①彼ら：「わたしの羊」、キリストを信じる〈わたしたち〉

②知る：（あなたとイエスとの交わりをとおして、イエスがあなたを）深く知る

⇒キリストは、わたしたちの悩みや痛みに寄り添いたいと願われ、あなたの心の声を聞き、赦しや慰めを施される。

★救い主イエスとの交わりによって、あなたの心に命と力が与えられ、この方に従いたいとの思いが形作られていく。

「わたしは彼らに永遠の命を与える。」（28節）

羊飼いなるイエスは、わたしたちの命を尊きものとして扱い、その命を死からも救って、新たな尽きぬものに変えられる。

○ヨハネ10章28節のみことば

「だれも彼らをわたしの手から奪うことはできない。」

※羊飼いの御声に従い、神の守りのうちに生かされよ。